認知症サポーターの皆さまへ

認知症について正しく学んだ認知症サポーター、キャラバン・メイトのみなさんの
理解ある対応、さりげない見守りは認知症の方やそのご家族にとって大変心強いものです。
感染症の対策やご自身の健康管理に十分に留意しながら、
ぜひ今こそ力を貸してください。

※認知症の人は周囲の人とコミュニケーションをとることが苦手です。
※急激な環境の変化により、認知症の症状がそれまでより
強くあらわれる場合もあります。

こんなところに気をつけて

✕ 驚かせない

「後ろから声をかける」
「大きな声で話しかける」
「複数の人で同時に話す」
と混乱します。

✕ 急がせない

せかしたりせず、
できるだけゆっくりと
話します。
本人の言葉を繰り返して、
反応を見ながら意思を
確認します。

✕ 自尊心を傷つけない

一番不安になっているのは本人です。
尊厳を傷つける言動は慎みましょう。

○ さりげない見守りを

認知症の人が一人で
避難所から出て行って
危険な目に遭うおそれ
があります。
家族以外の人も
さりげない見守りを
お願いします。

認知症の人のご家族へは……

「気にしないで」
「お互い様ですから」などの
ひと声をかけ合いましょう。

- 初めての場所でも**トイレの位置**などは、根気よく伝えれば覚えられる場合もあります。なるべく時間に余裕をもって誘導しましょう。

- 自分のいる場所、今が何時頃かわからなくなり、ときには**パニック**を起こしたり、**奇声**を発することもあります。まずは周りの人が落ち着いた対応をお願いします。もしパニックになってしまったら、いったん場所を移したり、対応する人が交代することも効果的です。

NPO法人 地域共生政策自治体連携機構
全国キャラバン・メイト連絡協議会